



Dr.鈴木による抜歯即時、抜歯待時埋入の分類

Stage II Stage III

症例提供：鈴木 光雄先生

分類

分類	詳細
Stage 0	抜歯後即時埋入
Stage I	抜歯後3～4週間（抜歯待時埋入）
Stage II	抜歯後3～4ヶ月（抜歯待時埋入）
Stage III	抜歯後6ヶ月以上（抜歯待時埋入）

上記は、鈴木光雄先生がご自身の症例を判りやすく解説するための独自の分類です。

Stage II

抜歯後3～4ヶ月（抜歯待時埋入）

Stage II 抜歯後3~4ヶ月 (抜歯待時埋入)

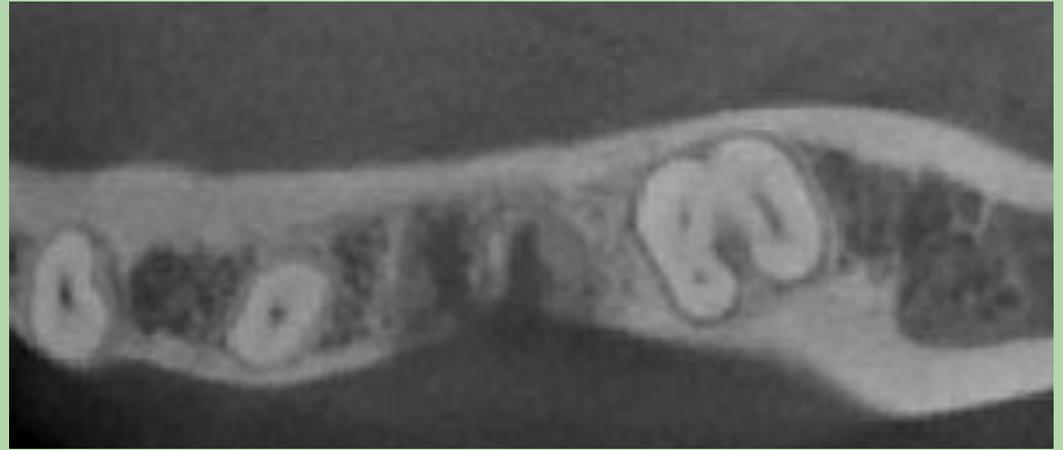


根尖病巣があり、抜歯された下顎6番。

根尖病巣がある場合は、基本的に抜歯即時埋入は避けてます。

丁寧に搔爬をおこないましたが、当時はテルプラグを使用していません。現在は「Stage0」の症例でご紹介したように、児玉利朗先生のテルダーミスを使用したソケットプリザベーションを行います。

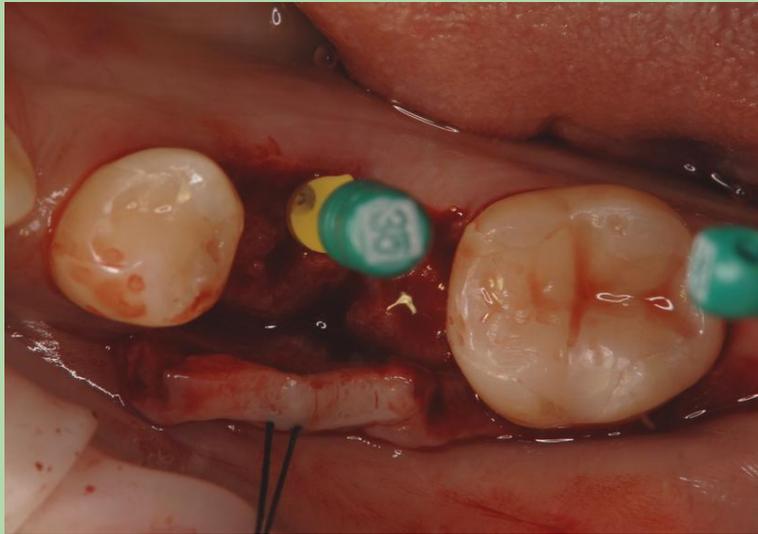
Stage II 抜歯後3~4ヶ月（抜歯待時埋入）



オペ前に撮影したCT画像。
抜歯時に頬側歯槽骨板が吸収していたため、4ヶ月経過した時にはかなり狭窄した状態になります。

テルプラグを使用して狭窄化させない方法（充填、縫合）もあります。

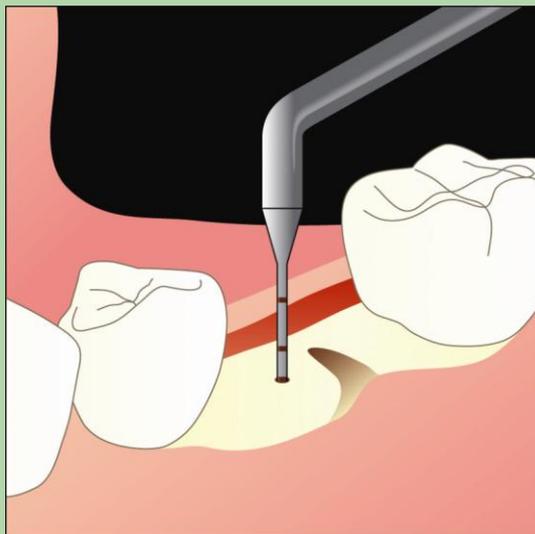
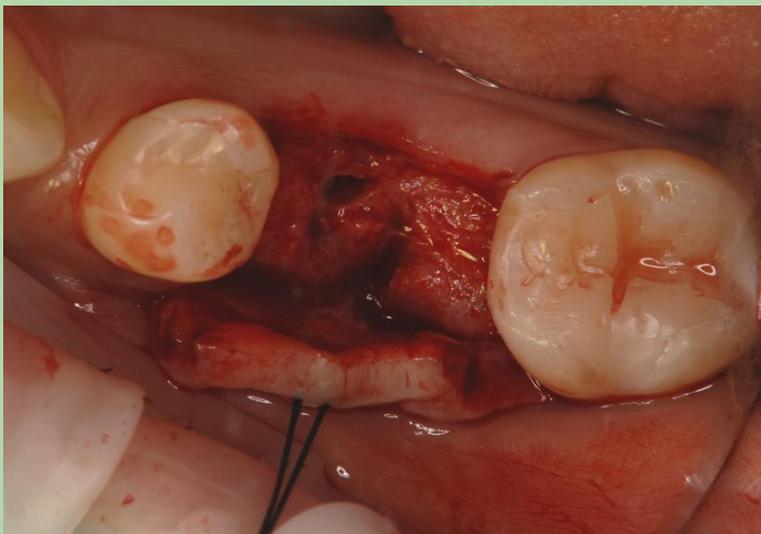
Stage II 抜歯後3~4ヶ月（抜歯待時埋入）



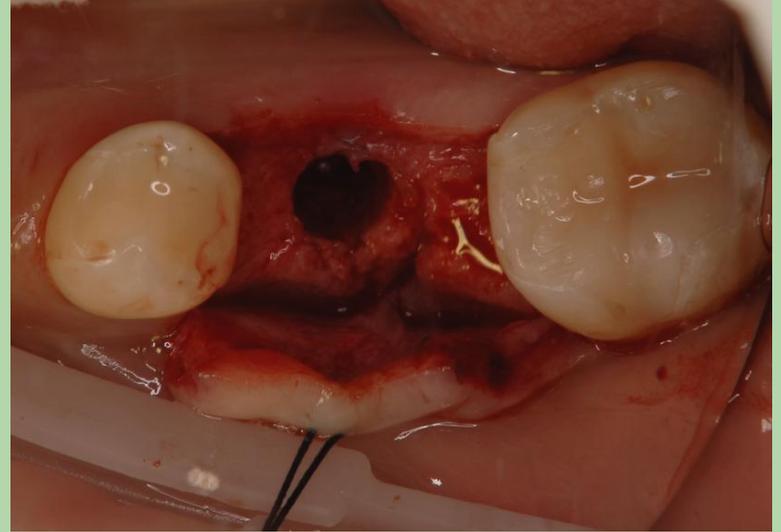
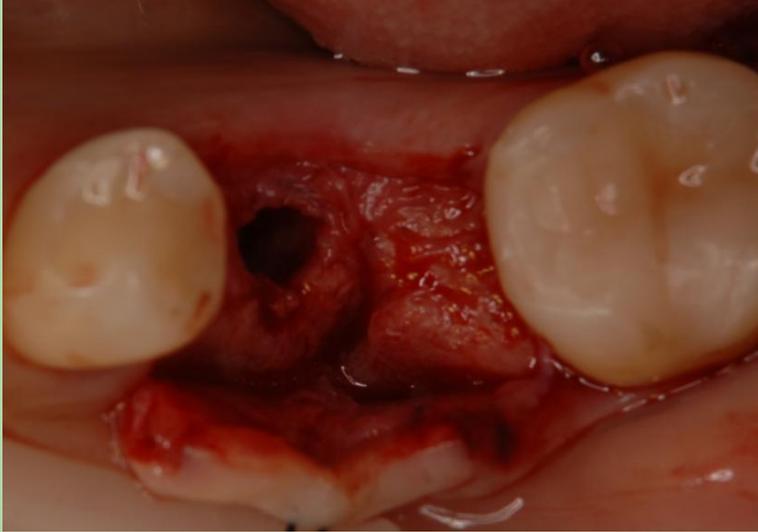
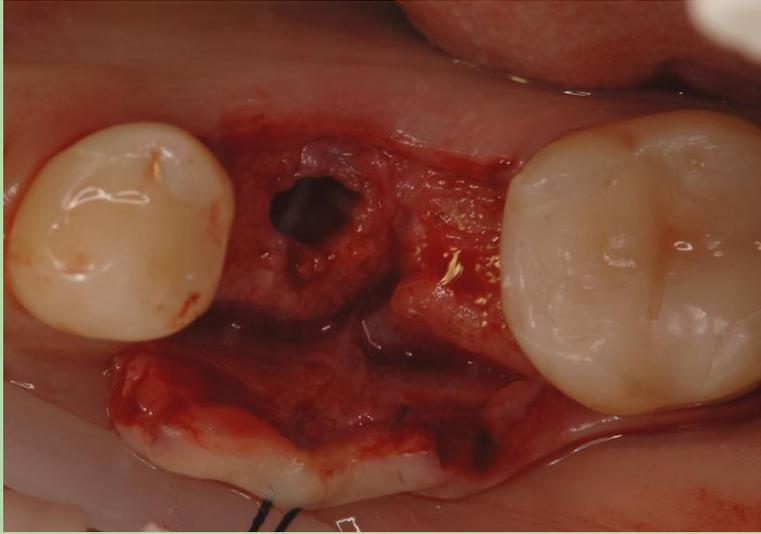
切開線は骨のある舌側に設定します。
骨のある部分に起始点を設けて、裂開部に骨を移動させる予定で拡大します。

起始点の設定位置は、理想とするインプラントプラットフォーム内にします。

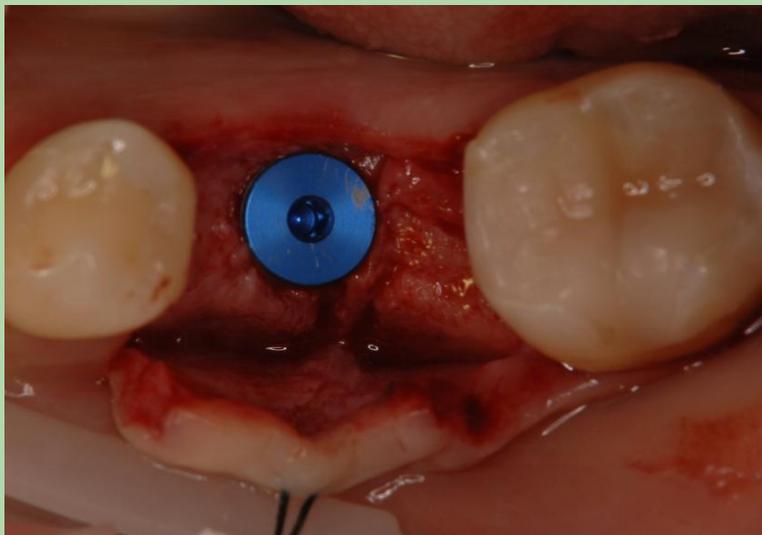
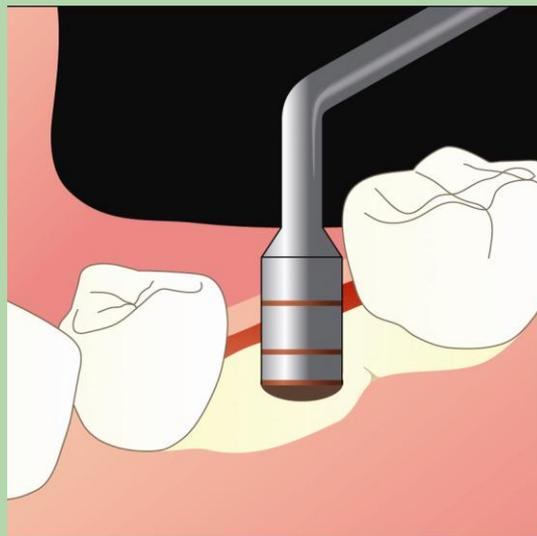
Stage II 抜歯後3~4ヶ月 (抜歯待時埋入)



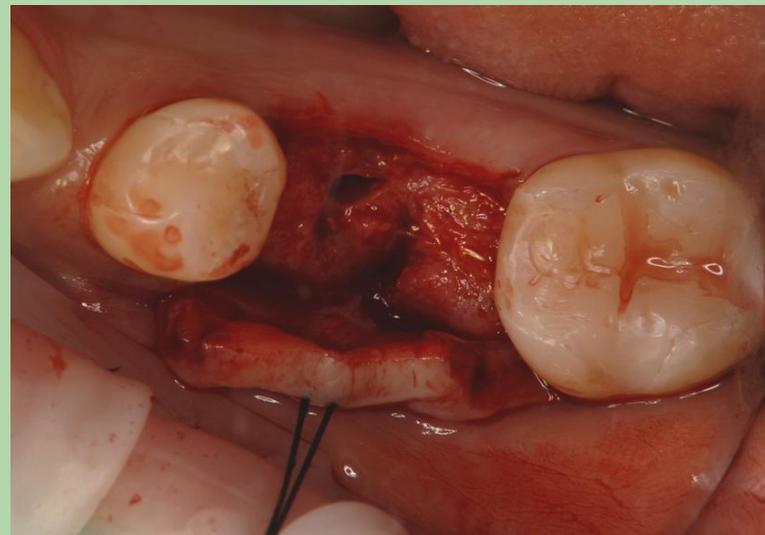
Stage II 抜歯後3~4ヶ月 (抜歯待時埋入)



Stage II 抜歯後3~4ヶ月 (抜歯待時埋入)

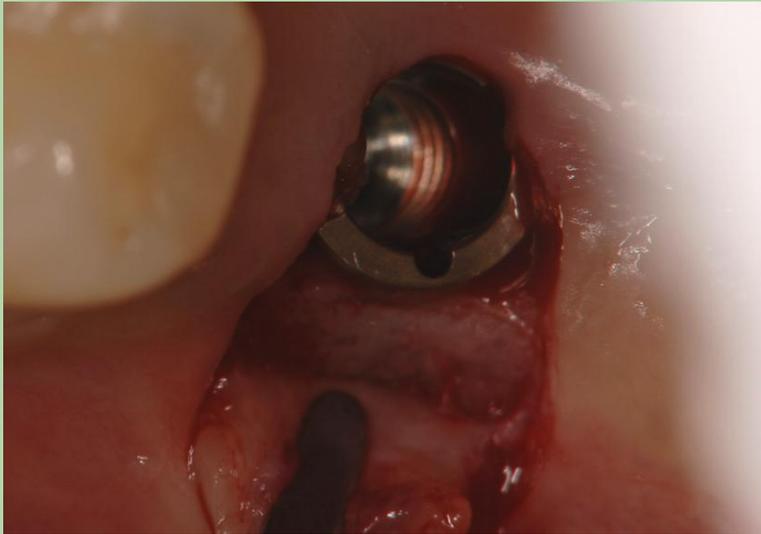


5.0mm埋入後



拡大前

Stage II 抜歯後3~4ヶ月 (抜歯待時埋入)

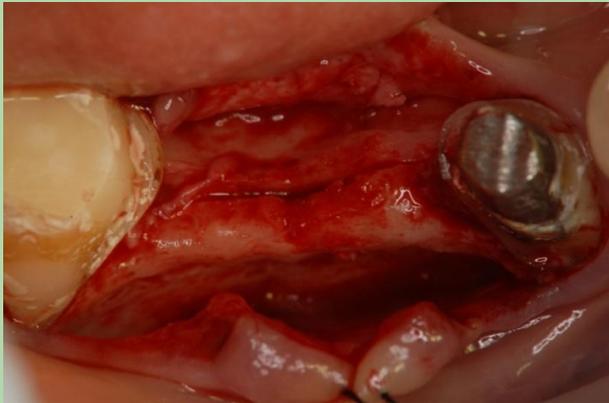


CEREC E-MAX

Stage III

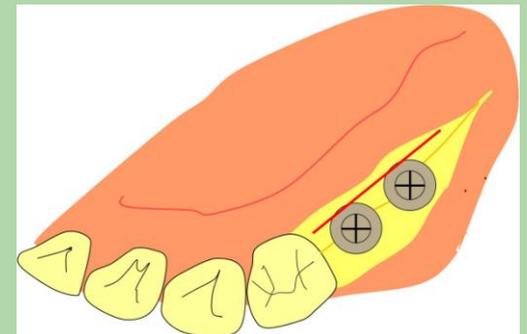
抜歯後6ヶ月以上（抜歯待時埋入）

Stage III 抜歯後6ヶ月以上（抜歯待時埋入）

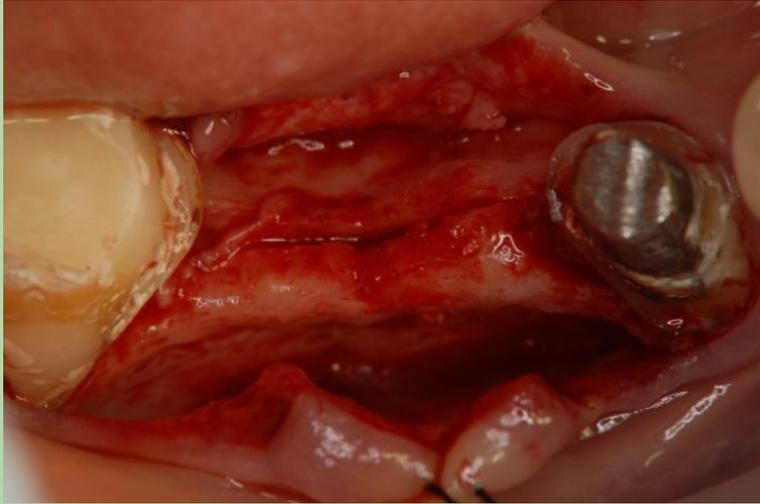


近遠心方向への溝形成には
ダイヤモンドディスクを使用
しました。
径7.0mm、厚0.3mm
7,875円（税込）

50代 男性の中間欠損です。このような症例にうまく
オーギュメンターを活用するには、溝形成は欠かせません。
溝の位置は、理想とする埋入位置の必ず舌側寄りにします。
この時点で確保した頬側の骨を拡げます。



StageⅢ 抜歯後6ヶ月以上（抜歯待時埋入）



“耕し”テクニック

硬い土の大地に、鍬（クワ）や鋤（スキ）を使って耕した土地に種を蒔くがごとく、インプラントを埋入することから命名。

詳細はインプラントジャーナル43号で確認できます。PDFファイルがありますので
ご興味のある方は、ご請求ください。

info@medical-apex.com

TEL058-266-0123

《手順》

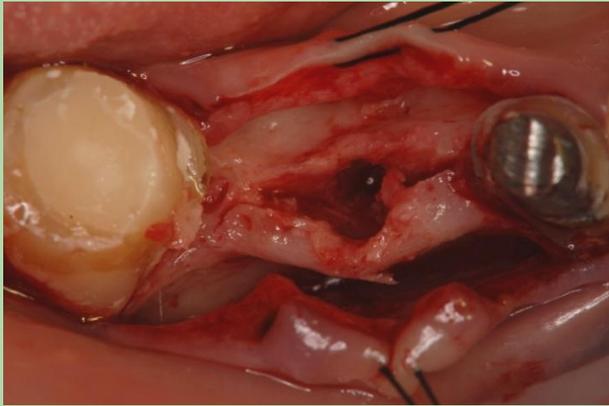
：ダイヤモンドディスクなどで溝形成

：マイクロインシナルバー0.7mmで海綿骨を穿孔
（深度はインプラント長の80%程度）

：スリッターでスリッティング
スリッターで切れない時は皮質骨もしくは骨の硬い部分が残存していると判断
できます。この時は再度、マイクロインシナルバーを使用します。

：オーギュメントで拡大

Stage III 抜歯後6ヶ月以上（抜歯待時埋入）



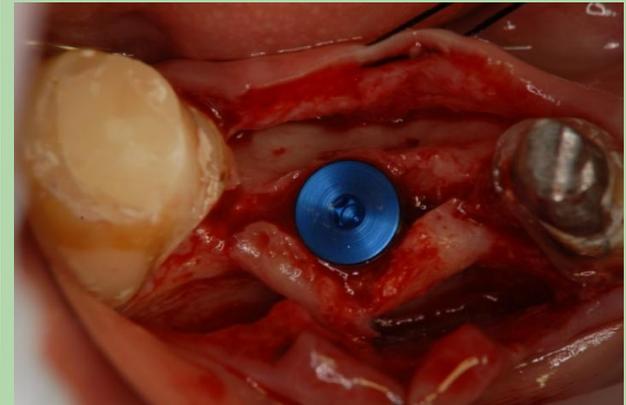
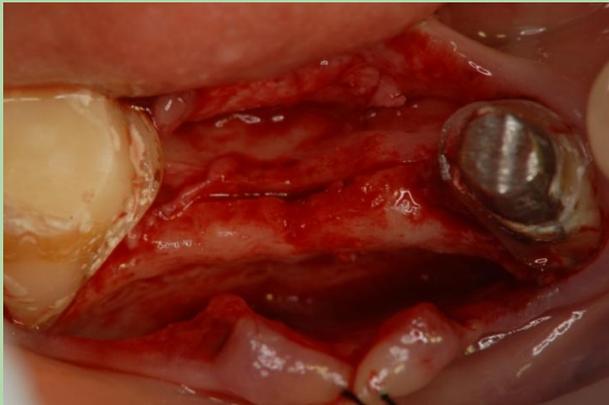
3.8mm使用後



5.0mm使用後

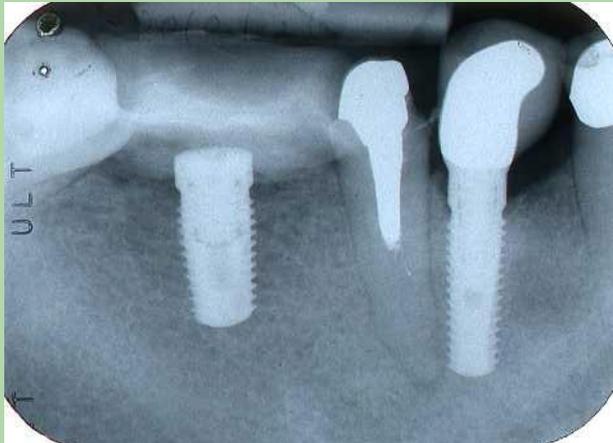
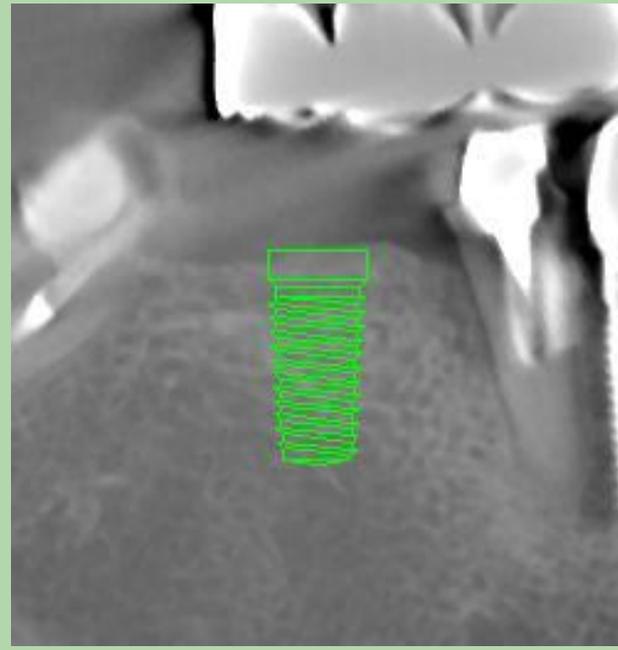
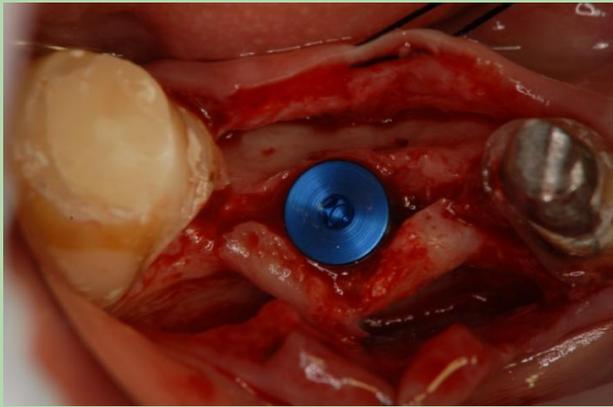


最終ドリル使用後



拡大前と比較すると、驚異的な頬側への拡がりです。
やや裂開していますが、遊離していないため問題はないと考えています。

Stage III 抜歯後6ヶ月以上（抜歯待時埋入）



CT画像上で5.0mmのシュミレーション

ドリリングであれば、GBRの症例でした。

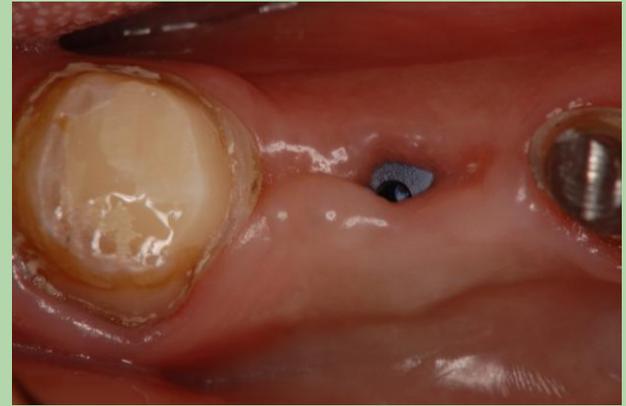
Stage III 抜歯後6ヶ月以上（抜歯待時埋入）



縫合



抜糸後



シトプラスチック除去後



本症例においても、減張切開することなくシトプラスチックを使用しました。